MECHANICAL DEPARTMENT

ものづくりのセンスを磨き

創造力あふれるエンジニアをめざそう

MA01

ボールペンの製作 キックボードの製作

指導: 今井早先生

研究者

太田 朔八・林 奏斗・山本 雄翔・古田 晟士 小林 耕太・矢口 雅人・山田 晃弘

ボールペン製作の班では、芯を固定したり、全長や重心の位置を 工夫しながら製作して、筆記時にブレが少ない使いやすい製品に

なりました。キックボード班では、壊 れたキックボードを再生するために部 品を新たに作るなどして軽量化を実現 しました。



MA02

サイクルキャリー ~特許を目指して~

指導:增田先生

研究者

酒井 優太郎・飯澤 亮太・池上 亨希・山口 太聞 山口 洸斗・横林 海斗

自転車がパンクしてしまった時、パンクして も自転車に乗って移動できるキャリーがあれ ば良いと思い製作しました。ローラーを使っ て動きを伝達する機構を考え設計したので、 学生の発明、デザインの特許を取るパテント コンテストに応募しました。



MA03

トレーニング用具の製作

指導:下島先生

研究者

鹿ノ戸 蒼・松村 凌太・百瀬 雄飛・山田 悠雅

上嶋 晴輝・五十嵐 啓太・今井 直

グループ1は野球道具を作りたいと思い、溶接 とボール盤を用いてティースタンドと移動式 マウンドを製作しました。グループ2では筋肉 トレーニング器具を作りたいと思い、旋盤とボ ール盤を用いてダンベルシャフトの製作を行 いました。





MA04

時計製作と鍵製作

指導:田中先生

研究者

櫻井 利央・百瀬 岳・黒崎 優・佐藤 優生・大森翔太

宮田 裕斗・下平 空河・百瀬 竜恭

製作した時計は、アルミニウムを材料にして 軽量化し、硬式野球部に寄贈するため野球部 にちなんだホームベース型にして製作しまし た。鍵の製作ではピッキング防止用ツールを 製作し、ピッキング被害に遭わないために独 自の対策を考えました。





MA05

パルスジェットエンジンの製作

指導: 白澤先生

研究者

脇本 和樹・朝倉 大貴・飯島 昊大・稲垣 匠海

氏家 兼司・神通川 優翔・田中 智貴

パルスジェットエンジンとは、燃料を燃焼させ ることで推力を生み出すエンジンの一種で、燃 料と酸化剤(空気など)を混合し燃焼室で点火 することで連続的なパルス状の推力が得られ ます。単純な構造で初心者でも作りやすく、ホ ビーとして作成する人もいます。



MB01 カードシャッフル機の製作

指導:小林駿先生

研究者

竹花 陸・立石 孝亮・ 羽田野 壮吾・ 原田 春幸 平賀 洸輝・山石 翔太・山口 雅人

私たちは、完全なランダムについて調べよう と考え、ランダムを可視化するために、カー ドシャッフル機を製作しました。カードシャ ッフル部にモーターを使用し、ランダムに回 転させるプログラムをアルディーノで制作、 制御しました。



MB02

からくり機構を用いた看板の製作

指導:山口新先生

研究者

有江 禅・稲田 旭希・片田 啓太・木下 橙悟 坂口 瑛柊・ 村田 悠斗・ 両角 樹璃

私たちは、松本工業高校の PR として、もの づくりの楽しさ・魅力を伝えるために、メカ トロ工学コースで学んだ技術を生かした作品 を製作したいと考え、旋盤を模した模型に、 からくり機構とシーケンス制御を用いて動作 する作品を製作した。



MB03 自動餌やり機の製作

指導:山口英先生

研究者

奥原 時光・佐藤 未来・鈴木 啓生・塚本 悠里 中田 冴都樹・野口 拓朗・深井 莉久・吉澤 吹紀

設定した時間に自動で餌をあげられる機械を 設計、製作しました。制御系・外装加工系に 分かれて実施しました。Arduino を用いてタ イマー制御、餌を出す機構はサーボモーター を使用して制御しました。外装は金属で加工 しやすいアルミ板を用いました。



MB04 転轍機の設計とその制御

指導:小林邦先生

研究者

古畑 司・佐藤 暖真・大澤 光希・岡本 雄太 中野 澪・円山 聖・三間 駿介・山下 翔

「転轍機」という列車を分岐させる装置の設 計と制御を行いました。分岐させるセンサに はホール素子を用い、レールは既存品を参考 に設計しました。列車の脱線やプログラムに 苦戦しましたが、改良を重ね完成させること ができました。



MB05

制御の研究 ~スマートスイッチ PLC 実習装置の製作~ 指導:嶋田先生

研究者

宮入 真歩美・増田 大葵・森山 謙成・黒岩 彩人・

武藤 弘樹 · 松澤 泰知 · 朝倉 崇至 · 根石 友斗 · 眞野 神樂

私たちは「自動制御」をテーマにスマートフ ォンから照明を操作するスマートスイッチと PLCを利用し空圧制御学習ができる実習装 置の製作を行いました。人の役に立つもの、 便利に暮らせるものは何かと考え悪戦苦闘し ながらつくり上げました。

